各　　位

2026 年 11 月 4 日
株式会社リットーミュージック

純烈、モナキの酒井一圭プロデューサーの初自伝『自供♨』が 11 月 20 日に発売！
T-OD ではマッチング T シャツも販売に！



インプレスグループで音楽関連のメディア事業を手掛ける株式会社リットーミュージック（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：松本大輔）で文芸・カルチャー関連を扱う出版レーベル立東舎は、『自供♨』（酒井一圭 著）を、2026 年 11 月 20 日に発売します。
0 歳から 51 歳まで、各年齢で印象的だった出来事を中心にゴーストライターなし、本人の自筆で認められた本書には、これまで語られなかった秘話も多数含まれ、また折々の酒井一圭の心の中も明かされています。純烈結成以降のトピックも当然ながらとても興味深い内容ですが、幼少期から既に仕事やプロデュースに関して人並み外れた感覚を持っていたことがわかり、現在に繋がる 1 本の道を確認できるのも本書の読みどころとなっています。
純烈ファン、モナキファンはもちろん、人生に悩んでいる方にもぜひお読みいただきたい、そんな「崖っぷち半生記」です。

体重は4500グラム

0歳
1975

どうも、この度は本書を手に取っていただきありがとうございます。今年で51歳になった私、なんだか慌ただしいですね。全国を旅して歌い、喋り、いろいろなお仕事をしながら七転八倒な日々を送っています。今日は家族も純烈もモヤキも周りにおらず、ホテルでひとりちまちま書き始めたところでございます。でもね、忙しくさせていただけるようになったのは最近の話で、若い頃はとにかく暇でした。私のたわいもない、これまでの話、どうぞ気楽にお付き合いいただければと思います。

誕生から始めましょう。0歳の頃のことは全然覚えていません。無理やで。そりゃそうですやん。聞くところによると、私は1975(昭和50)年6月20日に大阪の吹田市で生まれたそうです。関大前とか千里山、あの辺です。阪急電車が通っていて、そのシートがちょっと高級なソファのような感じでね、子供の頃はじっとしていられない。先頭車両から一番後ろの車両まで走り回って行ったり来たりして、同じ年のちっちゃい子を見つけては「ポッキーあげる」と配るような子。せっかく買ってもらったポッキーでも箱丸ごと気前良くあげてしまう輩。同じ子供同士、会えただけで嬉しかったんでしょうな。おばあちゃんに「かすまし、丸ごとあげたらおかしいよ、分けるなら1本ずつ分けてあげなさい」と、そんな風に教わった記憶があります。あれ？　これって0歳の話ちゃうん。3歳くらいの話やん。だから！　0歳のことはまったく覚えてへんねんって！

話を戻しますと、私が生まれる前年、1974年の母の誕生日、10月25日に出血があり、切迫流産と言われたそうです。しかも翌月の11月4日が結婚式と披露宴ということだったみたい。母は当時22歳、出血が止まらず、病院に行っても薬が効かず、また病院を変えても状況は一向に変わらず、もうどの病院でも厳しいんちゃうという難しい状況だったようです。結婚式当日も、万が一のことがあったということで、父のお母さん、つまり私のおばあちゃんがホテルのスタッフさんに「何かあったらすぐに救急車を呼んでください」とお願いしていたほどの状況だったそう。ところが、その11月4日からピタッと出血が止まり、無事、6月20日に生まれました。体重は4500グラム、特別大きく生まれたんです。看護婦さんたちは私のことを「ジャンボちゃん、ジャンボちゃん」と呼び、ガラスの向こうの透明な箱に赤ちゃんがいっぱいいる中、私のチャームポイントは、不細工。「顔もへちゃむくれで、毛も一本もなかったわ」と母は言うてました。「ええ加減にせい！　あんたに似たんや！」と返したりましたわ(笑)。

とにかく身体が大きく、見た目はそんなに良くない赤ちゃんが、無事に誕生！　めでた

「涙の銀座線」で純烈がデビュー！

35歳
2010

いよいよデビューが決まり、まずはデビュー曲を何にしようか、どんな曲調にしようかとスタッフとメンバーのみんなで考えました。ポップス寄り？　アイドル寄り？　それぞれの意見が分かれるかと思いきや、蓋を開けてみたら、みんな揃って初志貫徹！　歌謡曲路線と満場一致だったのです。思いのほかスムーズに「涙の銀座線」に決まりました。

次はグループ名です。レストランでスタッフ、メンバーが一堂に会する機会があり、アイデアをその場にいたみんなに聞いてみたんです。1人ひとつは言ってくれたので10個以上出てきたはず。だけど今でも覚えているのは、夢列車、メリーゴーランド、観覧車と、ダサいやつばかり！　たぶん銀座線に引っ張られて乗り物シリーズになったんだと思います。やばいなあ……。そう思った記憶しか思い出せない(笑)。もっと世の中にないネーミングにしたかったので、あの日は誰のも採用せずに帰宅しました。

たまたま少女漫画の売れ行きランキングを見たときに、「純情○○」と「純情」が付いたタイトルの漫画が第1位でした。「純情」かあ。なんかいいなあ。純粋に真っ直ぐな気持ちでこのプロジェクトをやっていきたいと考えていたので、目に留まったんだと思います。

35歳
2010

後日、事務所で音頭師にもグループ名に付けたいワードを聞いてみたんです。彼らは戦国武将が好きで事務所に甲冑が飾られていたり、本棚にもそういった本がずらりと並んでいるようなタイプ。その本の中に「烈将伝」という言葉の入った1冊があり、私の使いたい「純情」と音頭師のお気に入りの「烈将伝」、この2つを合体させて「純情烈将伝」というグループ名になりました。6人の武将たちといったイメージ。ちょっとかっこ良すぎかな？　でも誰もムード歌謡グループとは思わない、思いもよらぬ感じがいいなあ。気に入りました。

レコーディングは、編曲を担当してくれた渡部大介さんの自宅スタジオでスタート。都立大学駅から少し歩いた場所にある柿の木坂のマンションでした。府中本町駅から乗り継いで通い、大國魂神社に毎日往復お参りしながら、2週間ほどレコーディングに励んでいました。スタジオで行き詰まったら近くの碑文谷公園を散歩したり。曲の雰囲気やアレンジを渡辺さんといろいろ相談しながら制作を進めていくことは、私は楽しかったけれど、渡辺さんはやる気満々過ぎる私に質問攻めにされたり、話題があっちにこっちに転がっていったりとホントに大変だったと思います。とことん付き合っていただき助けてもらいました。最終的な歌入れの段階までは私と渡辺さんのマンツーマン。最後の歌入れの段階で白川さんを呼び出して参加してもらい、私は自分のパートとハモリ、渡辺さんもハモリに

51歳
2026

体は純烈、頭はモナキ

1月1日元旦。一瞬寝て、朝3時に起き4時にTBSラジオに入り、5時、『BRAND-NEW MORNING』の新年1発目の生放送が始まりました。今回は、番組スタッフのご配慮で弟分グループのモナキの4人をロケで使ってくれたんです。2名ずつ、それぞれ都内の神社に向かい、年男年女を探すという企画。早朝ということもあり、なかなか見つからず、それを織り込み済みで未経験のモナキを起用してくれたスタッフさん、本当にありがとうございました。新人には何事も経験が大切です。一生懸命やっていました。

人の人生を預かる身として、純烈でやれることをきっちりやろうと頑張ってきましたが、私はモナキのメンバーではない。純烈と並行してできるのか、ここまでの人件費や経費は事務所にのし掛かり、結果によっては純烈本体にも影響が出る。満を持してのタイミングで始めたのは、私なりに勝ち筋が見えたから。だからこそ、ダメなら撤退。そういう筋書きもある中、着々と仕込みの仕事を進めていたわけです。

51歳
2026

オーディションで出会い、ボイストレーニングやダンスレッスンに1年以上かけましたが、やはり授かった才能があり、始める年齢が若い方が有利なのはスポーツと同じです。この世界でやってみたい、人生を変えたい人たちの挑戦。私も多くの人に助けてもらって今があります。何かのきっかけになればという思いがありました。

純烈の結成のきっかけは、右足の大怪我でした。生まれる前には母が切迫流産と言われ、1歳半で手術、3歳で右足を骨折して2ヶ月半入院。中学・高校でも足をくじいたり、部活で骨折したり。6年間をならせば、1年くらいはギプス生活だったはずです。大人になっても怪我は続きました。怪我をしないように生きるという考え方が全くなかった。病院はどん底、ここから良くなるだけの場所。何が起ころうと馬鹿みたいにポジティブになってしまうのは、私固有の性格ではあるんだけど、歩んできた境遇的なものもある。これで産まれちゃったんだから仕方がない。ネガティブは嫌だな。ならポジティブか。そんな感じなんです。

モナキがデビューするにあたり、自分にできる仕事をやり切った後は、神社。願いはみんなの健康のみです。もうひとつ、それは入院。特に入院するほど悪いところはないのですが、「でべそ」を手術すれば入院できるのではないかと思いつきました。人間ドッ





■書誌情報
書名：自供♨
著者：酒井一圭
定価：3,300 円（本体 3,000 円＋税 10%）
発売：2026 年 11 月 20 日
発行：立東舎／発売：リットーミュージック
商品情報ページ　https://rittorsha.jp/items/26317419.html

CONTENTS
目次
体重は 4500 グラム　0 歳　1975
初めての入院・手術　1 歳　1976
最初の純烈　2 歳　1977
神社と温泉　3 歳　1978
仕事って大変なんだな、と実感　4 歳　1979
笑いが絶えない至福の 1 年　5 歳　1980
芸能魂覚醒　6 歳　1981
剣友会に入会　7 歳　1982
人生初めてのパーマ　8 歳　1983
『あばれはっちゃく』の主人公　9 歳　1984

過密スケジュール　10 歳　1985
芸能界引退　11 歳　1986

二度目の燃え尽き症候群　12 歳　1987
高級品ステレオで音楽を楽しむ　13 歳　1988
中学時代いちばん泣いた瞬間　14 歳　1989
初めてのデート　15 歳　1990
生まれて初めてのアルバイト　16 歳　1991
錦糸町ひとり暮らし　17 歳　1992
文化祭でブルーハーツ　18 歳　1993
池袋３人暮らし　19 歳　1994

池袋３人暮らし シーズン２　20 歳　1995
東京競馬場がある府中市に引っ越す　21 歳　1996
ハリウッドデビュー！　22 歳　1997
バンド解散　23 歳　1998
ネット掲示板デビュー！　24 歳　1999
敗北からの逆転　25 歳　2000
ノーマーク戦法　26 歳・上　2001
ガオレンジャーをやり切る　26 歳・下　2001
初めての時代劇　27 歳　2002
一気に人生が変わっていく　28 歳　2003
ロフトプラスワンのプロデューサーに　29 歳　2004

プロレスラーになる　30 歳　2005
『クラッシャーカズヨシ』の時代　31 歳　2006
おそらく私は『紅白歌合戦に出る』　32 歳　2007
純烈のメンバー、脳内ドラフト会議　33 歳　2008
今までで一番気合を入れて演じた死体役　34 歳　2009
「涙の銀座線」で純烈がデビュー！　35 歳　2010
デビュー２年、年収２５、０００円　36 歳　2011
『スッキリ』初出演　37 歳　2012
日本クラウンに移籍！　38 歳　2013
全公演満員御礼となる　39 歳　2014

父の死　40 歳　2015
オリコンの演歌歌謡曲チャート第１位　41 歳　2016
大きな夢を語るリアリスト　42 歳　2017
健康センターから夢の『紅白歌合戦』に　43 歳　2018
ジェットコースターのような１年　44 歳　2019
等身大フィギュアが完成　45 歳　2020
劇場公演に挑戦　46 歳　2021
地方競馬の馬主資格を取得　47 歳　2022
体感最速の年　48 歳　2023
日本武道館で会おう！　49 歳　2024

名もなき若者４人の登場　50 歳　2025
体は純烈、頭はモナキ　51 歳　2026

ここまで書いて、まだ途中　―あとがきにかえて―

PROFILE
酒井一圭（さかい・かずよし）
1975 年 6 月 20 日生まれ、大阪府出身。85 年、ドラマ『逆転あばれはっちゃく』の主人公で子役デビュー。01 年『百獣戦隊ガオレンジャー』に出演、人気を博した。その後、純烈を結成し、10 年にメジャーデビュー。温浴施設でのライブ活動が“スーパー銭湯アイドル”として注目を集め、18 年に NHK 紅白歌合戦へ初出場。以降、8 年連続出場を継続中。競馬をこよなく愛し、競馬関連番組にも多数出演、馬主でもある。現在は、純烈の活動と並行し、 4 人組グループ『モナキ』のプロデューサーとしてもさらなる高みに挑んでいる。
著書
2003 年　『酒井祭』
2021 年　『純烈 人生相談室 僕のお腹で、泣けばいい』



●酒井一圭『自供♨』T シャツ
50 歳の節目に書き始めた酒井一圭さんの初の自伝『自供♨』が、51 歳の年に刊行されます。これを記念して、書影をあしらったオリジナル T シャツを制作。ボディはホワイト、ブラック、グレーからお選びいただけます。
純烈やモナキのイベントに着ていけば目立つこと間違いなし！　お友だちへのプレゼントとしてもどうぞ！
定価：4,950 円（本体 4,500 円＋税 10%）＊送料別
カラー：ホワイト、ミックスグレー、ブラック
サイズ：S、M、L、XL、XXL
商品情報ページ　https://t-od.jp/products/jikyo-ts-001

【立東舎】 https://rittorsha.jp/
立東舎は文芸、マンガほか、さまざまな分野のポップカルチャーを紹介する出版活動を展開中。「乙女の本棚」などの好評シリーズのほか、手塚治虫、谷ゆき子らの幻のマンガの復刻などで感度の高い読者の話題を集めている出版ブランドです。

【株式会社リットーミュージック】https://www.rittor-music.co.jp/
『ギター・マガジン』『サウンド＆レコーディング・マガジン』等の楽器演奏や音楽制作を行うプレイヤー＆クリエイター向け専門雑誌、楽器教則本等の出版に加え、電子出版、映像・音源の配信等、音楽関連のメディア＆コンテンツ事業を展開しています。多目的スペース「御茶ノ水 RITTOR BASE」の運営のほか、国内最大級の楽器マーケットプレイス『デジマート』や T シャツのオンデマンド販売サイト『T-OD』等の Web サービスも人気です。

【インプレスグループ】https://www.impressholdings.com/
株式会社インプレスホールディングス（本社：東京都千代田区、代表取締役：塚本由紀）を持株会社とするメディアグループ。「IT・デザイン」「音楽」「山岳・自然」「航空・鉄道」「モバイルサービス」「学術・理工学」を主要テーマに専門性の高いメディア&サービスおよびソリューション事業を展開しています。さらに、コンテンツビジネスのプラットフォーム開発・運営も手がけています。

以上

【本件に関するお問合せ先】
株式会社リットーミュージック　広報担当
E-mail: pr@rittor-music.co.jp